



「東御市チャレンジショップ」の開設について

- ◆ 東御市総合福祉センターは令和5年に改装を行い、高齢者センター内の公衆浴場廃止後のスペースを、様々な年代の方が集えるフリースペースとして開放している。
- ◆ 総合福祉センターのさらなる活性化と、高齢者の介護予防や障害者の社会参加を推進するため、フリースペースの一画に「チャレンジショップ」スペースを設置し、市内の高齢者施設・障がい者施設等で製作された物品等を販売することで、市民理解と交流への促進につなげる。

＜チャレンジショップ設置により見込まれる効果＞

- ・ チャレンジショップとして運営方法を整理することによる出店者増（総合福祉センターの活性化）
- ・ 販売ターゲットの拡大（総合福祉センター利用者等）による出店者の地域生活への定着

チャレンジショップの常設化

市民が出店者の活動を認知し理解する、互いを尊重しあった地域共生社会の実現

＜想定される出店内容＞

- ・ 事業所利用者等が作成した物品や農産物等の販売、飲食物の提供
 - 通所介護事業所：輝楽（農産物販売）
 - 就労支援事業所：ダーチャ（パン販売）、グローデイズ（農産物販売）、CPF（革製品販売）
- ・ その他事業所利用者等による作品の展示など

＜今後のスケジュール＞

- R7年10月：出店に際しての取り決め事項等を明確にするための要領（別紙）を作成→対象事業所等への周知
- 11月：出店希望者に向けた説明会開催→調整のうえ順次出店開始